

BCP策定手順を紹介

東信と中電 多治見市でセミナー



企業経営者らがBCP策定の手順を学んだ
セミナー＝多治見市虎溪山町、とうしん学
びの丘エール

東濃信用金庫と中部電力は、事業継続計画(BCP)対策セミナーを多治見市虎溪山町のとうしん学びの丘エールで開き、東濃、中濃

地域の企業経営者ら約80人がBCP策定の手順を学んだ。

昨年9月の台風21号で倒木による長時間停電が発

生し、県内企業の事業に影響が出たことを教訓に開いた。中部電力販売カンパニー岐阜営業部の河田奈々さんが「中部電力が提案するBCP」と題して講演した。

河田さんは「緊急時に適切な対応を行うことが、会社が生き残る分かれ道」とBCPの重要性を強調。早期復旧に必要な経営資源の洗い出しといった策定の手順、非常用電源の種類、燃料確保の方法、国の防災・減災投資促進税制を紹介した。

BCPの一環として、サイバーセキュリティ対策に関する講演もあった。

(野中準二)